



# ふれあい スポーツ

発行  
滋賀県障害者スポーツ協会  
〒520 大津市御陵町4-1  
滋賀県立スポーツ会館内  
☎ 0775-22-6000  
FAX 0775-22-6000

## 第31回全国身体障害者スポーツ大会

### うつくしま ふくしま大会

10月28日・29日 福島県・福島市

去る10月28日・29日、福島県福島市、あづま総合運動公園陸上競技場を中心に、第31回全国身体障害者スポーツ大会(うつくしまふくしま大会)が開催されました。

さすがに秋の東北らしく風は冷たかったものの、全期間に渡り天候にも恵まれ、「つなぐ手にあふれる感動 わく勇氣」をスローガンに選手・役員約2千2百人の祭典が開催されました。



旗手の田中選手を先頭に滋賀県選手団51名の堂々の入場行進!

平成4年度の「べにばな大会」(山形)以来の東北での開催となった大会ですが、遠方にも関わらず今年も多くの方が応援に来て下さいました。また、べにばな大会の滋賀県付コンパニオンリーダーであった方も選手団の激励に駆けつけて下さるなど、あらゆる意味で交流の輪の広がる大会となりました。

開会式では、滋賀県選手団51名は「入場行進が美しい滋賀県」の伝統? を受け継ぎ整然と行進し、選手・役員の感動と緊張を全身で表現していました。

競技においても滋賀県選手は日頃の練習の成果を如何なく発揮し、個人競技出場選手については、金16銀7銅3と全員がメダルを獲得。また、見事近畿予選を勝ち抜いて、2年ぶりの出場となったグラウンドソフトボール(盲人野球)についても、準決勝戦で惜しくも今年優勝チームの愛媛県に1対0で破れたものの3位入賞を果たしました。

そして、競技終了後の後夜祭においては、全国から集まった選手たちとの交歓があり、旧知を温める者あり、新たな出会いありと参加者全員が大会の感動を分かち合いました。

こうして、みちのくの秋の祭典、第31回全国身体障害者スポ

## スポーツと私



能登川町 吉田 優子

私が全国身体障害者スポーツ大会に出場して、早くも9年の月日が流れました。

私が全国身体障害者スポーツ大会を知ったのは、盲学校に入ってからです。友人、知人が参加する姿を羨ましく思い、私も参加してみたいと思いました。

その時はじめて、スポーツというものを意識したような気がします。

私はそれ以前には体が弱かった事もあり、本格的にスポーツを行なった経験がなかった為、全国大会への出場が決定した時には、嬉しきよりも不安で一杯になりました。

大会までの間は、スポーツをを行い、向き合い、その中で様々な事を学ぶことが出来たと思っています。また、その為に協会や福祉事務所の方々、町の青年団の方々等が助力下さったことを今も感謝致しております。

結果、運も味方してくれたの

1ツ大会は、スローガンの通り「あふれる感動」のうちに幕を降ろしました。

なお、来年の第32回全国身体障害者スポーツ大会(おひる

か、槍投・卓球の2種目ともメダルを頂く事が出来ました。しかし、心の中は「もっと真面目に、もっと真剣に練習をしておくべきであった」との後悔の念で一杯でした。

現在、私は選手として出場する事は多くありませんが、強化練習を通して知ったスポーツの楽しさ、汗を流す事の気持ち良さは今も忘れていません。

そして、全国大会出場を通して経験したような後悔は一度としたいと思っております。

そして、そのような気持ちで指導員として現在も協力をさせて頂いております。

技術的な面や、練習方法等の指導については無力な私ですが大会に出場される選手が、私がしたような後悔をすることなく、良い思い出だけを作れるよう、手助け出来れば幸いです。

「自分にとって、スポーツとは何か。」と問われても、速答する事は出来ませんが、ほんの一端でも、スポーツに携わる事が出来たことを良かったと思っております。

今後、私に何が出来るかにについても、私自身判りませんが、とにかく一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、これから宜しくお願致します。

大会ひろしまは、「げんきがやけノ」をスローガンに、平成8年10月26日・27日、広島県広島市で開催されます。

大会マスコット



# あふれる感動・あふれる思い出! うつくしまふくしま大会

## ◆参加選手感想文◆



エイッ! 池田選手の走幅跳

### 同志だから こそ

八日市市 池田喜久子

「つなぐ手に あふれる感動  
わく勇氣。まさにスローガンそ  
のものの大会でした。」

役員はじめ監督・コーチの  
方々には6月の選考会以来、

### 「福島 バンザイ」

草津市 横江 末夫

大観衆の盛大なる拍手の渦の  
中緊張と感激と興奮のなか、素  
晴らしい感動を全身で味わいな  
がら行進するたびに感動、感動  
の連続で胸が熱くなる素晴らし  
い思い出を残す事ができました。  
思えば選考会で13人の仲間  
選ばれ光栄でした。苦しかった  
強化練習に耐える事ができたの

並々ならぬご指導を頂き、有難  
うございました。本当に出場出  
来て良かったと思っております。  
福島駅での歓迎をはじめ、大  
会の入場行進など思い出は無限  
りありません。今でも思い出し  
ては感動に涙しております。

あづま連峰の山々、炬火の入  
場、全てが私にとって初めての  
体験でした。  
孫のような若い者に交じって、  
私のような「おばあちゃん」が

も、それぞれが違った障害を持  
ちながら、一生懸命に練習に取  
り組む姿に勇気づけられ、互い  
に励まし、助け合いながらの仲  
間意識の向上、皆さん本当にご  
苦労さまでした。

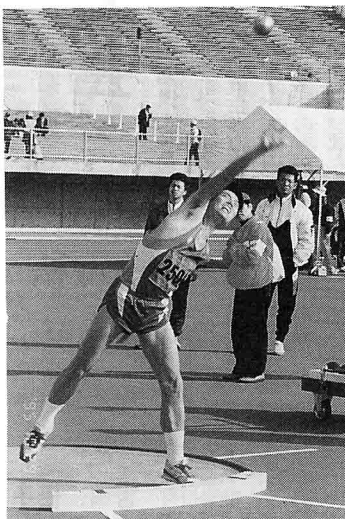
私も金メダルを2個取る事が  
でき、これも監督・コーチ、皆  
さんのお陰と感謝しています。  
大会中いろいろな人の競技を見  
て感動し、他府県選手との交流  
や友情も深められ、また、地元  
の方からは熱烈な歓迎を受け、  
本当に「つなぐ手に あふれる  
感動 わく勇氣」のスローガン

一緒にプレイ出来る事は「身ス  
ポ」ならではの事だと思います。  
また、いろいろな障害を持つ  
方とふれあい、あたりはばかる  
事もなく、互いの痛みを分かち  
合えるこの大会はとても意義の  
ある大会だと思います。  
各々が自分の障害をものとも  
せず競技に向って行く、そのひ  
た向きな「精神力」に強く胸を  
打たれ、我々が同志だからこそ  
味わえる感動だと思いました。  
また、地元の方々の暖かい歓  
迎ぶりや小学生からの心のこも  
った贈り物など福島県民の一人  
一人が大会を支えて下さった事  
に感謝し、それに応えるべく自  
分も一生懸命に頑張り、暑い夏  
の練習の苦勞などはどこかへ吹  
き飛ばしてしまいました。  
今後は、このような感動を一  
人でも多くの人に味わって頂き  
たく、後輩の方の励みとなるよ  
う協力ができれば幸いです。

通り素晴らしい大会でした。

「福島、バンザイ!」  
大会に出場して得た経験を生  
かし、これからもスポーツが出

### 飛べ遠くへ……横江選手の砲丸投



### 僕達の「宝」

栗東町 山瀬 鋭了

僕は福島の大会に出場して本  
当に良かったと思います。高校  
生としての最後の時期に、しか  
る事に感謝し、今後の人生の  
励みとして頑張ります。  
お世話になり有難うございま  
した。



三段跳競技終了後、笑顔一杯の山瀬選手

も全国のレベルは高いにも関わ  
らず、僕のような者が出場出来  
た事は本当に運が良かったと思  
います。もし、出場出来ていな  
かったならば、素晴らしい出会  
いはなかったと思うからです。  
今大会に出場した事で、色々  
な出会いがあり、そして三段跳  
で3位に入賞出来た事は僕にと  
って幸せな出来事でした。その  
他、今まで障害について無関心  
でしたが、大会を通してあらた  
めに障害の意味を実感しました。  
僕はこの大会に出場できた事  
を誇りに思います。福島大会は  
一生忘れられない素晴らしい思  
い出になりました。いつまでも  
僕達の「宝」として心に留めて  
おきたいと思っています。  
最後になりましたが、こんな  
わがままな僕にチャンスを与え  
て下さった協会の皆さん、コー  
チの皆さん、また、出場を勧め  
て下さった先輩方に、心からあ  
りがとうを言わせて頂きます。

# 人生の過程 の二つ

野洲町 田邊 智

今回の福島大会は、私の人生の中で貴重な体験をさせてもらったと思います。

今から振り返ってみれば、選考会から私の戦いが始まりまし

た。初め私は、個人選手13名の取りまとめ役として務まるか躊躇していました。

「本当に私で務まるのだろうか」私の性格上マイナス思考が強すぎて、最初のうちは強化練習や強化合宿の時にはどこかで手を抜くか、甘えていました。

しかし、これではいけないと

## 生涯忘れない 心の糧

水口町 瀧井千恵子

閉会式で堤コーチに肩車される瀧井選手



中学時代の全員参加のクラブで始めた卓球を楽しみながら続けていた甲斐があつて、福島大

大会の1カ月前にこともあろうか2回も続けて足首を捻挫してしまいました。それでも練習を続けて大会に挑みました。結果は卓球が銀、ハンドボール投が銅でした。

これらの感激を生涯忘れることなく、心の糧としてこれからの人生をたくましく歩んでいきたいと思ひます。皆様、ありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願ひ致します。

少しずつ自分にプレッシャーをかけ、取りまとめ役としての自覚を大会終了まで持とうと決心しました。その甲斐もあつて、月日が経つにつれて仲間同士の輪がガッチリ結ばれていくのが分かり、嬉しく思ひました。

大会当日、福島県に入り県民の暖かい出迎えに驚かされ、いよいよ5カ月間の練習を10パーセント発揮しようと思ひました。

閉会式では入場行進の緊張感。競技の二日間で練習の成果を発揮しようとする勝負感。閉会式では炬火を消す感涙感。後夜祭では競技後の勝負感を喜びに変える感動感。

まさしく、「つなぐ手にあふれる感動 わく勇氣」の大会ス

聴覚障害、そして視覚の方もあまり良くなく、もともと運動は得意な方ではありませんでした。中学時代の全員参加のクラブで始めた卓球を楽しみながら続けていた甲斐があつて、福島大



車イスで表彰台に上った田邊選手

ロガン通りだと思ひました。

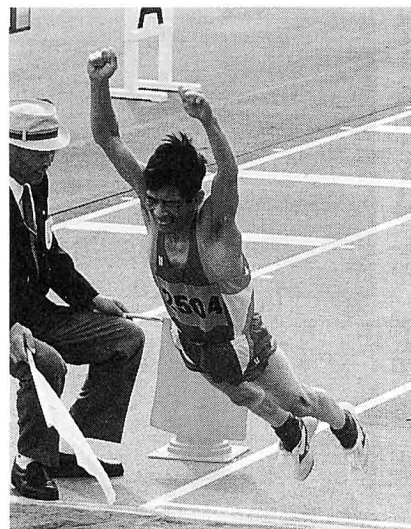
大会終了後、取りまとめ役をしていたことを通じて、一般の選手では味わえない感動が心の底から湧いてきました。それにしても二度と出られない、もう一度この感動を味わってみたい。……

最後にこの欄を借りて、選手

会出場のきつかけを頂きました。卓球は集中して行なわないと練習にならないので、厳しかったらどうしよう、ついでにいけるだろうか。」と不安でした。

大会までの5カ月に及ぶ強化練習・合宿等では色々な方に御指導頂き、そして当初に抱っていた不安をよそに、気遣いや励ましを下さされた方もおられ、心強く感じました。

昭和56年のびわこ大会の時に県立聾話学校生として、鼓隊で大会旗を誘導した思い出がありますが、選手として出場した今大会は感動させられる事が多くありました。



谷口選手の力強い立幅跳

## 今なお感動の 余韻

野洲町 谷口 稔

視覚障害が強くなり、スポーツと疎遠になっていたところ、或るスポーツ指導員の勧めがあり、草津の障害者福祉センターの水泳教室に参加しました。

高年齢になり体力的にも精神的にも衰退の兆しが見えはじめた為、健康維持の為とスポーツをしてみたいというのが参加の動機であつて、一生に一度しか参加できない全国身体障害者スポーツ大会に出場できるとは夢にも思つていませんでした。然

し、周囲の協力やご指導により「うつくしまふくしま大会」の水泳および陸上競技に出場する運びとなりました。

大会への出場が決まり喜びもありましたが、長期間の強化合宿等の日程を見ると、大会までに体力増強が出来るか不安で一

痛泉して、今なお感動の余韻に浸っていますが、今後も益々体力の維持のためスポーツを続けていき、機会があれば各種大会に参加し、人々とこの感動を共有し、そして自分がこれから生きていく糧にしたいと思ひます。

最後にこの大会を始め、いろいろな方々の協力、介助を賜り厚くお礼申し上げます。今後いろいろな形で協力を願うことになりませんが、宜しくお願ひ致します。

杯となりました。しかし、他の参加者等の協力の御蔭をもち、脱落することもなく、無事参加することが出来ました。

晴天に恵まれ、皇太子殿下・妃殿下のご臨席の下、選手団の一員として入場行進し、水泳・陸上競技に出場しました。記録的には若干不満が残りますが、競技場へ入場した時、名前を呼ばれた時の緊張と喜びと感動はなにもにも代えがたい思いでした。



# 最高かつ最大の6日間

大津市 小西美和子

私にとってこの大会の6日間は、自分の生き方も変えてしまう程の衝撃を受けた。最高かつ最大の6日間でした。言葉に言い尽くせない感謝の気持ちで一杯です。

実は数年前まで、私は障害者スポーツに対してひがみに近い偏見を持っていました。その後親から独立し定職に就き、ふと我が身を振り返り、誰にも迷惑をかけずに生活が出来る様になった今、なお未だどうしようもない孤独感と虚しさ、不安は一体何なのか、分からなくて悶々と迷い悩んでいる日々、私はこの大会に出会いました。

戸惑っている間に選手に選ばれ、それまで全く体験した事のない強化練習が始まりました。夏の灼け付く様なグラウンドも、意識が遠くなる程のインターバルも、私にとっては本当にみんな楽しかったです。こんなに夢中になって、青春している自分なんて今までであつたらうか。そしてまた、初めて出会う指導員の方の溢れんばかりの率直の精神にも感動して……

5ヵ月間は瞬く間に過ぎ、大会はやつて来ました。身震いした入場行進、はしゃいだ後夜祭手造りの地元交流、どの一瞬をとつても私には宝物です。けれ



水泳の好記録に笑いが止まらない？ 小西選手

## 来年は貴方に

彦根市 脇坂 和広

10月28日・29日に福島県で行なわれた全国身体障害者スポーツ大会に出場いたしました。本

当にこの大会に出させて頂いて感謝しております。

御蔭様で私は出場した100mと走幅跳の両方とも金メダルを頂き、しかも、100mは大会新を出す事が出来ました。これもコーチの方をはじめ、関係者の方々の御蔭だと思っております。本当にありがとうございます。私はこの大会の後に、私と同じように障害を持った友人に、「是非とも来年は貴方に行つて欲しい。」と言っております。と言うのも、本当に感動をしたからです。それは、人の心の暖かさです。大会コンパニオンの地元の方、その他大勢の方の心暖かさです。だから、私はこの感動を皆に味わつて欲しいのです。滋賀県担当のコンパニオンの方は私達とたった6日間一緒にいただけでしたが、地元交流後の祝勝会、そして帰る日には

## ソフトボール投での泰磨選手



## 良き思い出

彦根市 泰磨 敏子

学校生活以来、スポーツらしいスポーツをしたことがなかった私は、大会への出場が決まった時は、少々戸惑いと不安で一杯でした。

みちのくの秋も深まった10月28日・29日。

大観衆の中での開会式の入場行進に感激し、少々緊張気味での競技出場。別れを惜しむ閉会式で寂しさを味わい、ホツとし

新幹線のホームで泣いて下さり、その姿を見て胸がジーンと致しました。

この大会が一生に一度しか出場できないのが残念でなりません。あと数回はあの感動を味わいたいです。

もし、まだ経験されていない方があれば、是非とも経験をさせて頂きたいと思っております。確かに出場が決まっつからの練

習は厳しいかも知れません。然し、それなりの見返りは必ずあると思います。

私も内心、こんなに大きく感動するとは思っておりませんでした。本当に出場して良かったです。

こんな感動を味わわせて頂きまして、協会の皆さんをはじめ、御協力頂いた方々本当にありがとうございます。

今後の後夜祭……好天にも恵まれた大会2日間はあつという間に過ぎてしまいました。

大会がすぎさつた今、炎天下で真っ黒に日に焼け、汗を流した強化練習など数々の事が良き思い出として、甦ってきます。一生に一度しか出場出来ない大会を、福島で体験させて頂けた事を、深く感謝致します。ありがとうございます。

長期に渡りご指導下さいました方々をはじめ、日々の練習を通して大勢の皆様にお世話になり、本当にありがとうございます。



介護の近藤さんと喜びを分かち脇坂選手



ゴール直前、歯をくいしばり力走する森岡選手



# よく頑張ったなあ

大津市 森岡 泉

滋賀県に来て3年目、やっと主婦らしい生活を送れる様になった私に、更生会の今井さんから「全国大会の選考会に行つてみないか」という話があり、何かスポーツをやれるきっかけが出来ればという軽い気持ちで行つたのですが、幸か不幸か13人の内の一人に選ばれました。

独身時代から運動音痴の私が全国大会に出るなんて言ったら「滋賀県に行つてどうなの?」と言われるほど、今までの私の生活になかった生活が始まり、夏の強化合宿・強化練習で真っ黒に日焼けし、汗びっしょりになってグラウンドを走ったりハンドボール投の練習で肩が痛くなったり、今まで障害があるからといって、体を動かすことさえ億劫になっていた私にとって生まれて初めての経験でした。

そのほかにも、青木監督を始め

個性豊かなコーチの方々、スポーツ協会の方々との出会い、また、他の12人の選手との出会いを通じて、スポーツ以外にも色々と学ぶことが出来た5カ月間でした。

## 「感動」の連続

大津市 田中 一秀

「感動」の連続でした。

僕はずいぶんこういつた感じを忘れていたのですが、久しぶりに思い出す事ができました。沸き立つ歓声、拍手の音、心優しい地元の人、そのような中で誇り高き滋賀県選手団の旗手として参加できたことは、僕の心に多くの事を刻みました。

スポーツを通しての他選手団との交流はとても心暖まり、これから僕がスポーツをしていく上で大きな励みになると思えます。僕がこのような「感動」を得

また、激励会を開いて頂いたり、御祝金を頂いたりして、滋賀県の代表選手という重荷を感じることもありました。大会に関しては東北らしい暖かみを感じられ、地元の人達が大会を成功させようとする早くからの努力が福島駅に着いた時から伝わって来ました。入場行進、開会式は本当に言葉で言い表わせないほど感動的なものでした。全国大会に出てきたという実感が湧いて来たのもこの時でした。

競技は2日間ともプログラム最後の方だったので、観客が少なく気楽に取り組めた反面、

少し寂しい気持ちになったのも事実です。

でも、あまり良い成績ではなかったのですが、失格にならず記録も残せたので、5カ月間よく練習したとは言えないもののよく頑張ったなあと思いました。後夜祭のビールもおいしく飲み、地元交流も楽しく過ごさせてもらえて、本当に満足させて頂きました。

この5カ月間の貴重な思い出体験を大切にしていきたいと思えます。最後に私の様な未熟者を引っ張って下さった皆様、どうもありがとうございます。

られたのは、周りの皆さんの暖かいご支援があったからです。幸運な事に僕は2種目とも金メダルを取ることができ、この成果は自分一人のものでなく滋賀県選手団が皆で取った金メダルだと思っています。とても僕一人では取れなかったでしょう。コーチの方々の的確な指導や、選手同志の励まし合いや交流によって生まれたものです。

今大会で参加選手全ての人がそれぞれの困難な障害に打ち勝ち、それを全く感じさせないようなスポーツをしていたことに多くの勇氣・感動を与えられました。逆に僕も他の人に勇氣・感動を与えることができていたならば、こんなに嬉しいことはありません。今大会を通して身体障害者に対する一層の理解や、健常者と

身体障害者との心の交流ができたことはとても喜ばしいことだと思います。これからも、このような「感動」を多くの身体障害者に伝えていって欲しいと思います。最後に人と人との本当の心のふれあい、それをこの「身体障害者スポーツ大会」で味わうことができました。有難うございました。



ダブルピースで表彰台上がった田中選手

## 書き尽くせない……

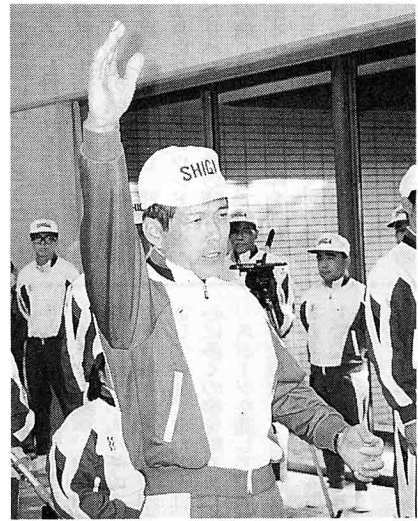
栗東町 山本 香織

一時はどうなるかと思いましたが、七回の強化練習は本当に辛かったです。特に私は2種目とも競走競技だったため、お昼に出されたお弁当も疲れてあまり食べられないまま、午後の練習に入った日もありました。学校でも放課後に四〇〇米を中心としたメニューを組んでも

上がった表彰台。結果はどちらもう2位だったけれど、一生に一度しか出られないこの大会に参加できた事は、一生の思い出として私の心に残る事と思います。その他、書き尽くせない思い出が本当に沢山ありました。最後に団長をはじめ監督・コーチ、そして介護をして下さった皆さん、12人の個人選手の皆さん本当にお世話になりました。ありがとうございます。



さあダッシュだ! (山本選手400m走)



稲葉知事に力強く宣誓する古谷選手

# 自分が輝ける場所

八日市市 古谷 恒雄

全国身体障害者スポーツ大会の選考記録会への参加を勧められた当初、私はあまり乗り気にはなれなかった。昔、体が丈夫であった頃は、体力に自信があったのだが、現在の自分の障害の具合を考えると、恥をかきに行く様なものだと思うに至らなかつたからである。又、障害者として大勢の人前に出る事にも抵抗があった。しかし、幸いにも全国大会に出場する機会に恵まれたことで、私の今後の人生観も大きく変わった様に思われる。

福島へ発つ当日に催される結団式に先駆けて、他の選手と合流した時、私はメンバーの多くが障害者である事をものともしない堂々とした態度でいることに驚きを感じた。今ここにいる

笑顔を決やさない明るい人達の中にあつて、自分が普段と違う異世界にでもいるような気持ちがあつて、そういった雰囲気溶け込みたいと思う反面、戸惑いも感じた。と言うのも今まで障害者である事を心のどこかで恥じていた私にとって、大らかな心持ちになるという事は、プライドを捨てることにつながるからである。

この様な内面の葛藤は、いつも障害者を持たない人と接している時に強く感じるものであつた。しかし、今回私と同じような障害者達とのふれあいの場で、私が何かしら安堵したのは確かである。

さて、この大会で印象深く残つた出来事は、開会式と試合中の障害者達の姿であつた。入場ゲートをくぐつた時の感動を私は生忘れはしないだろう。予想に反した大観衆の声援の中、今日の主役が私達であるという事実をじわじわ実感し、言葉では言い表わせない喜びや誇りが

体中を満たした。同時に今まで自分を卑下して小さくなつていた心が自信を取り戻し、背筋がピンと伸びた様な気がした。この状態は試合中も同じで、私は全力を出し、記録を伸ばすという事だけに集中することが出来たと思う。

そして、この時私はなぜ皆が障害者を持つている事をものともせず堂々としていられるかが解つた。彼らは障害者でもやれば出来るという自信を持つているからだ。私はこの大会を通じて初めてそういった自信を手に入れる事が出来たのだ。

今大会で、私は障害者として生きていく希望を見つけた様に思う。自分が輝ける場所は、私の気持ちを理解してくれる人々の中に存在した。しかし、その安息の場から一歩外に出ると、たちまち孤独に襲われる。この様な思いを障害者達にさせないためにも、一人でもこの社会に障害者が増えないことを願うばかりである。



そして涙の別れが……

## 第31回全国身体障害者スポーツ大会滋賀県選手成績表(個人競技)

氏名(障害区分)	種目	記録	順位	備考	氏名(障害区分)	種目	記録	順位	備考
脇坂和弘 (両手部切断)	100 m 競走	12秒1	1	大会新	池田喜久子 (片手部切断)	走幅跳	2 m20	1	
	走幅跳	5 m00	1			走高跳	82cm	1	
田邊智 (片大腿切断)	ソフトボール投	27m00	1		小西美和子 (両大腿切断)	25 m 自由形	30秒11	1	自己新
	50 m 自由形	39秒08	1	自己新		砲丸投	4 m05	1	
古谷恒雄 (右または左の主たる片側障害・走不能)	砲丸投	9 m63	1	自己タイ	森岡泉 (上肢に不随意運動を伴う走可能)	400 m 競走	1分55秒4	2	自己新
	ソフトボール投	37m88	1			ハンドボール投	8 m30	2	自己新
谷口稔 (光覚・手動指数0.01未満)	25 m 平泳ぎ	29秒66	2		泰磨敏子 (視力0.01以上)	ハンドボール投	18m90	1	
	立幅跳	2 m09	2			ソフトボール投	27m38	1	自己新
田中一秀 (視力0.01以上)	1,500 m 競走	4分36秒3	1	自己新	山本香織 (視力0.01以上)	100 m 競走	15秒00	2	自己新
	ハンドボール投	30m76	1			400 m 競走	1分24秒8	2	
横江末夫 (視力0.01以上)	走高跳	1 m25	1	自己タイ	瀧井千恵子 (聴覚、平衡、音声言語機能障害)	卓球	—	2	
	砲丸投	6 m64	1			ハンドボール投	21m18	3	
山瀬鋭了 (聴覚、平衡、音声言語機能障害)	槍投	33m88	4						
	三段跳	11m44	3	自己新					

準決勝の対愛媛戦での一コマ

ブランドソフトボール  
見事3位入賞!



2年振り出場となり、銅メダルの滋賀県チーム



競技名が昨年からブランドソフトボール(最高のソフトボールの意味)に変更となった盲人野球競技は、これまでの全国大会で最多優勝回数4回を誇る滋賀県チームは、「かりゆし大会」以来の8年ぶり5回目の優勝へのチャレンジとなった。

初戦の対青森県戦では1回表に先制を許したものの、その裏には押し出して同点に追い付いた。その後両者得点することが出来ず、1対1のまま競技終了抽選の結果滋賀県が勝利し準決勝戦に進んだ。

準決勝戦の対愛媛県戦では2回裏に滋賀県が無死満塁で先制のチャンスをつかんだものの、後続を断たれ、結局3回まで両軍とも得点が無く均衡が続いた。

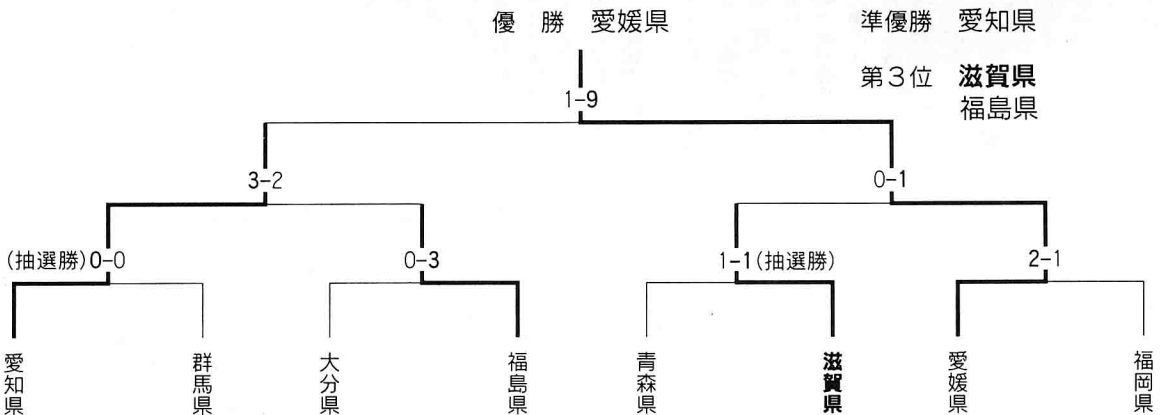
4回表、愛媛県は連続安打及び四球で無死満塁のチャンスをつかみ、この機にレフトへの犠牲打で1点を先制した。

その裏に滋賀県は反撃に転じ無死2塁のチャンスをつかんだものの、やはり後続がなく無得点に終わった。

結局、愛媛県が4回の1点を守りきり、滋賀県は涙を飲んだ。しかし滋賀県は徳島大会に引き続き3位入賞を果たし、次回大会以降の5回目の優勝に大きく期待できる結果であった。

なお、愛媛県は決勝戦では愛知県に9対1で圧勝し、2年ぶり4回目の優勝を果たし、滋賀県に並んだ。

第31回全国身体障害者スポーツ大会グランドソフトボール成績表



全国大会  
こぼれ話

○今年の全国大会は天候に恵まれ、大会全期間を通じては勿論強化練習会の全日程においても雨らしい雨に見舞われた事は一度もなく、天候の「当たり年」であった。

○一方、県大会は雨に悩まされ続けたため、今年の選手の「日頃の行ない」が余程良かったと推察される。(この事に異論がある人も多いと思うが、選手の名誉のため敢えて深く追求しない。)

○しかし、それは秋の東北。とくに大会前日の練習日には風の冷たさに閉口し、なかには頭の先から足元まですっぽり毛布にくるまり、まるでラマ僧の状態になっている人があり、テント+ラマ僧で中央アジア気分を味わう事が出来た?。ピハ/インターナショナル滋賀県チーム

○福島の風は冷たい事は勿論、非常に乾燥していたため、喉を痛める者が多かった。

中には、完全に声を潰している者が若干名あったが、理由が乾燥のみとは思えない顔触れだった。

○例年後夜祭では元気が良いと評判の滋賀県選手団。今年はブランドソフトボールの人も加わり、踊る、歌う何でもありの大騒ぎ。警備に当たっておられた警察官の方が「法に触れることはしないで下さいね。」と一言。品の良い滋賀県選手団の本質がまだまだ一般人には理解されていないようだ。(A・Y)





「感動」はあづまの山々のかなたに……さよなら「うつくしま・ふくしま大会」

第10回滋賀県障害者グラウンドゴルフ大会

ホールポスト際の接戦！



9月24日(日)、県立長浜ドームにおいて、第10回滋賀県障害者グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

ドームでの開催も今回で3回目となり、また、前回・前々回と冬期に底冷えのするアリーナで開催されていたのに比べ、折からの台風による南風で蒸し暑さはあるものの、屋外の暴風雨の影響も全く受けず、選手たちは快適な環境の下プレーに専念することができ、全天候型会場・長浜ドームの素晴らしさを再認識する大会でもありました。

競技においても、外の台風に負けず激しい戦いが繰り広げられました。結果は上位常連の大津市Aチームが大会記録を一挙に18打も更新し、布留宮主将自らが「このような打数は見た事も、聞いた事も無い。」という、116打の驚異的スコアを叩き出し、第3回大会以来7年ぶり

に優勝を飾りました。また、準優勝は長浜市A、3位は信楽町となりましたが、なんと7位までの全てのチームが大会記録を更新しており、大会のハイレベル化を如実に物語っていました。

そして前回からオープン参加できる事となった療育チームも3チーム参加、好プレー珍プレーで大会を盛り上げました。なお、結果は次の通りです。

(第13位)	能登川町	141打	★ホールインワン賞	杉の子福祉作業所(療育)	167打
(第14位)	蒲生町	142打	明石 康一	永源寺町B(療育)	235打
(第15位)	守山市B	142打	小池 雪子	湖北寮(療育)	240打
(第16位)	近江市	142打	原田富士子		
(第17位)	甲西町	143打	中山ふみ江		
(第18位)	彦根市B	144打	河瀬和三郎		
(第19位)	近江八幡市A	145打	本田正太郎		
(第20位)	新旭町	145打	佐田 繁樹		
(第21位)	八日市市A	146打	岡野治三郎		
(第22位)	八日市市B	148打	村田 万蔵		
(第23位)	栗東町	149打	木村忠三郎		
(第24位)	日野町	150打	宇野勝治郎		
(第25位)	守山市A	150打	片山 栄藏		
(第26位)	土山町	150打	大塚 芳郎		
(第27位)	安土町	151打	加藤 博		
(第28位)	豊郷町	151打	中西幸之助		
(第29位)	浅井町	153打	大槻ヤスエ		
(第30位)	愛知川町	154打	山根利三郎		
(第31位)	安曇川町	155打	川口 富雄		
(第32位)	高月町	155打	谷口 佳一		
(第33位)	甲良町	157打	伊藤 郁子		
(第34位)	びわ町	158打	大島 善内		
(第35位)	多賀町	158打	吉澤 慶三		
(第36位)	マキノ町	159打	丸山		
(第37位)	野洲町	159打	小林 二郎		
(第38位)	虎姫町	162打	辻 健一郎②		
(第39位)	近江八幡市B	162打	須田 市藏		
(第40位)	甲賀町	163打	高山 博		
(第41位)	高島町	163打	久保田惣市		
(第42位)	米原町	167打	富永 庄三		
(第43位)	志賀町	169打	辻田 栄三		
(第44位)	湖東町	173打	狩野 利仁		
II オープン参加 II			藤田三代治		
愛東町	159打		深田よしみ		
秦荘町	150打		深田よしみ		

註②印はホールインワンを2回出した者。

# 第33回県大会

## アーチェリー 卓球

### アーチェリー競技

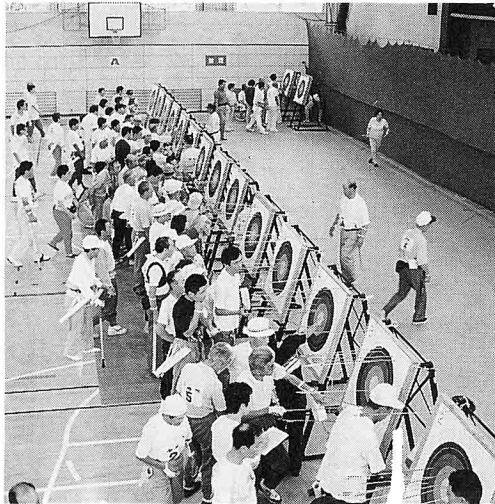
9月3日(日)、秦荘勤労者体育センターに於いて、第33回県大会(アーチェリー競技)が開催されました。

ここ近年、爽やかな秋晴れの下、屋外で開催されてきたアーチェリー大会ですが、今回は生憎の雨天のため、昭和62年の第25回大会以来8年ぶりに体育館での開催となりました。

しかし、選手にとっては外の荒天もまさに「こ吹く風」、参加82名の熱気で会場の体育館は埋め尽くされました。

競技に於いては、普段からアーチェリー競技に親しんでおられる方々のハイレベルな戦いが繰り広げられる一方、そうでない選手も各々が自己のレベルアップを目指し真剣な面持ちで的に矢を吸い込ませていました。

点数をかぞえる選手たち

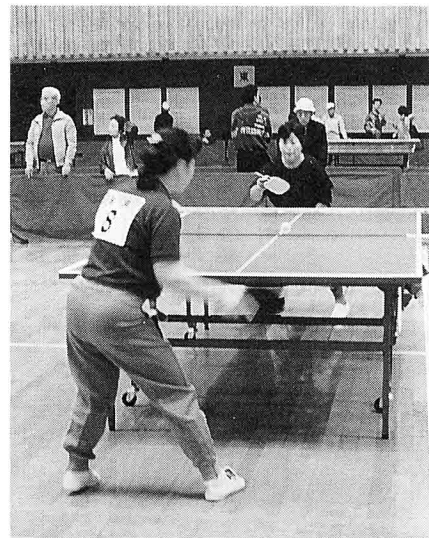


特に、体育館での開催となった為、的の距離を20mに短縮しておこなわれた、30m競技の争いは熾烈を極め、30点を挟む攻防も見受けられ、「自己の戦い」に参加選手は勿論、観衆も感銘を受けた。素晴らしい大会となりました。

また、今回は参加者の棄権率に若干の改善が見られ、近年の棄権者の増加傾向に歯止めがかかる事が期待されます。なお、15m・20mの最高得点は次の通りです。

- ▲男子15m▼  
青木 和彦(湖南) 259点  
(片上肢切断の部)
- ▲女子15m▼  
藤崎恵美子(湖東) 244点  
(下肢機能障害・体幹の部)
- ▲男子20m▼  
畑 盛(草津) 332点  
(脳原性以外の車椅子の部)

### 卓球競技



西口選手のレシーブの瞬間

去る10月8日(日)、草津市総合体育館において、第33回県大会(卓球競技)が開催されました。

当日は秋雨に見舞われたものの、気温等のコンディションも良く、体育館の中では参加選手138名による熱戦が繰り広げられました。

また、昨年から知的障害者もオープン参加として加わった事により、ここ近年参加者の減少および高齢化に悩まされている県大会中興の新たな力となり、来る可き障害者スポーツ大会の中核となることを希望します。しかし、例年のように今年も棄権者が多数あり、不戦勝者が大量に発生するため、大会そのものをシラけさせる傾向が見られ、大会の今後の発展への悪影響も懸念される事から、安易な棄権を防止するための対策の必要が感じられました。

競技は昨年と同様、湖西地区をのぞく12地区で争われ、結果甲賀が大量差で湖南に圧勝し、3連覇を果たしました。なお、昨年まで常に優勝争いに加わっていた地元草津地区は4位に後退し、昨年に続いて大津が3位となりました。

甲賀・草津時代の終焉となるのか、また、虎視眈眈と優勝を狙う大津はどうなるのか、次回大会が待遠しく思われます。各地区の成績は次の通りです。

- 優勝 甲賀地区
  - 準優勝 湖南地区
  - 第3位 大津地区
  - 第4位 草津地区
  - 第5位 彦根地区
  - 第6位 長浜地区
  - 第8位 近江八幡地区
  - 第9位 八日市地区
  - 第10位 守山地区
  - 第12位 湖東地区
  - 愛知犬上地区
- 1点 4点 4点 5点 8点 10点 10点 19点 29点 33点 36点 56点

### 県大会のこぼれ話

○今年も昨年と同様、琵琶湖が濁水に見舞われており、漁業は勿論、産業や市民生活への悪影響が懸念されております。しかし不思議な事に、今年も県大会は水泳競技を除いて全て雨、陸上競技は中止となり、アーチェリー競技の会場は体育館に変更され、最初から屋内で実施予定の卓球競技のみ予定通り開催されました。

その上、協会主催のグラウンド・ゴルフ大会に到っては台風の為、全天候型会場の長浜ドームですら開催が危ぶまれるというように、非常に天候に苦しめられた一年となりました。かつて、全国大会出場選手の強化練習が雨ばかりで困ったことがありましたが、大会に関しては例がなく、そのせいか真しやかに「〇〇雨男説」が協会関係者の間で囁かれるようになり、「そう言えば、あの人が来てから……」などと本人の意志とは関係なく、勝手に雨男にされてしまった不幸な方が、かなりおられた(ひよっとすとと貴方自身ですか?)ようです。

古来、雨を呼ぶ者は天神の使いとされ、豊稔をもたらすと同時に様々な天災を呼び起こす力があるものとして、敬い、恐れられてきました。そこで、あなたも近くの雨男を拜み、来年こそ大会が天候に恵まれ、琵琶湖には恵みの雨が降るようにお願をしてみたいかがでしょうか。(A・Y)

# ▼クラブ紹介▲

信楽町身体障害者スポーツクラブ

代表 平尾 忠允

信楽町身体障害者更生会がグラウンド・ゴルフを始めたのは昭和62年6月からですが、現在では毎週一回練習を行なっており、毎年8月下旬には更生会会長杯争奪戦を開催しております。本年度で第8回となりますが、毎年優勝者が異なっており、これも平素からの練習の成果だと考えております。

しかし、最初に選手6名で県スポーツ協会主催の第2回グラウンド・ゴルフ大会に初出場したときには、会員の誰もが良く解っておらず、「恥点の町が入賞しているのに、恥点も挙げている信楽町が入賞しないのはおかしい。」と口々に会員が言うので、会長の私も解らぬまま本部席に尋ねに行き、「グラウンド・ゴルフは点数が少ないのが上位です。」と聞かされ恥ずかしい思いをした事もありました。

平成元年には野洲の希望ヶ丘で会員8名が指導員の講習を受講しました。  
3年前から信楽町内ではグラウンド・ゴルフを始め、指導員が町内のあるところを廻って普及に努めておりますが障害者更生会には中々手が届かないと言われる程になりました。しかし、甲賀郡大会では信楽町はどうしても優勝出来ず2位に留まっておりますが、県大会においては優勝一回のほか、第

4回、第9回大会で3位に入賞することが出来ました。

一昨年、町内に「グラウンド・ゴルフ愛好会」が発足し、会員200名の中に更生会員24名も入会して一般健常者と共にプレーを楽しんでおります。

また、卓球に於いては甲賀地区は県大会において3年前まで12連勝し、その後も2位として優勝と素晴らしい成績を挙げておりますが、信楽町でも毎週土曜日の夜に練習をおこなっており、昨年より町会長杯争奪戦を開催しております。

グラウンド・ゴルフ、卓球の部員は会員中22名ですが、練習日には会員外の方も顔を出して頂いております。

まず練習が第一、また会員同志の親交を深め、健康維持と体力の増進を図る為に今後も活動を行なっていきたいと思っております。



「ナイスショット!」グラウンドゴルフ大会での一コマ

# おしらせ

◎平成7年度滋賀県障害者スポーツ指導員養成講習会の開催について  
来る平成8年1月27日・28日及び2月17日・18日の4日間に渡り、平成7年度滋賀県障害者スポーツ指導員養成講習会が開催されます。4日間の全日程を

◎平成7年度滋賀県障害者スポーツ指導員養成講習会の開催について  
来る平成8年1月27日・28日及び2月17日・18日の4日間に渡り、平成7年度滋賀県障害者スポーツ指導員養成講習会が開催されます。4日間の全日程を

全て受講された方については、滋賀県障害者スポーツ協会指導員として登録される他、希望者については(財)日本身体障害者スポーツ協会の公認指導員として登録できますので(ただし登録費用が必要です)、興味のある方は事務局までお問い合わせ下さい。

◎第8回滋賀県障害者スポーツ協会スキー教室の開催について  
平成8年2月26日(月)、琵琶湖パレニススキー場において、第8回スキー教室を開催します。協会の行事予定では、2月27日(火)箱館山スキー場となっておりますが、変更になりましたのでご注意下さい。  
なお、参加申込期限等詳しい事については後日各市町村役場に通知致します。

# ★各種

## 大会結果★

▼第10回東海身体障害者バトミントン選手権大会  
平成7年9月17日(日)  
於 名古屋身体障害者スポーツセンター

▲Aクラス ダブルス▼  
3位 井上博基・原田勝男  
▼第2回日本肢体不自由者国際クラス別卓球選手権大会  
平成7年9月23日(例)24日(日)  
於 大阪市身体障害者スポーツセンター

▲クラス8▼  
2位 倉合義数  
▼95ジャパン・パラリンピック陸上競技大会  
平成7年9月30日〜10月1日  
於 江戸川区陸上競技場

▲LAF5 砲丸投▼  
1位 熊田 繁 8m12cm  
▲LAF5 円盤投▼  
1位 熊田 繁 27m44cm

※以上集まった古切手等は県の

# 事務局だより

◎古切手等回収協力者 (敬称略)

◇古切手  
大津市 山田 恵三  
大石 康雄  
彦根市 瀬川 繁信  
北村さよ子  
野瀬 高明  
八日市市 武村美代子  
谷田 惣七  
内堀 光昭  
加藤 善彦  
大塚 弘  
甲南町 藤井 護  
能登川町 大橋 守  
豊郷町 久保川一夫  
今津町 三田村たみ  
新旭南小 あさひ1組・2組  
日野町役場福祉保健課  
豊郷町役場  
県八日市土木事務所  
県湖北福祉事務所  
県健康福祉部障害福祉課

※以上集まった古切手等は県の

いて

平成8年2月26日(月)、琵琶湖パレニススキー場において、第8回スキー教室を開催します。協会の行事予定では、2月27日(火)箱館山スキー場となっておりますが、変更になりましたのでご注意下さい。  
なお、参加申込期限等詳しい事については後日各市町村役場に通知致します。

ボランティアセンターに送らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。  
◎寄付・寄贈者 (敬称略)  
竹生島宝厳寺住職 峰 寛雄  
金 一〇〇〇〇円



開会式で勢揃いした各県選手団(うつくしま・ふくしま大会)

# 編集後記

◇昨年ほど大きく取り上げられていませんが、湯水で今年も出現、坂本城跡の石垣」の見出しで、琵琶湖の水位の低下が伝えられていました。これからの天気が気にかかるとの頃です。  
◇干天続きの連日の炎天下で、強化練習に汗を流した全国大会に出場の選手皆さん、ご苦労様でした。コーチの皆さん、ありがとうございました。

◇今回特集した「うつくしま福島大会」に出場した選手の手記にあるように入場行進の感激を、「感動で鳥肌が立つ思いだった。この感激を次の人にも伝えたい。」県に帰ったら、地域で、学校で、どこでも身近なところで自分も、そして皆が気安く参加し、スポーツを楽しめるよう頑張っていきたい。」と、これからの障害者スポーツへの尽力を誓いあっていました。

新しい協会の活力として活躍が期待されています。  
◇協会では、これから来年2月にかけて、指導員養成講習会・水泳教室・スキー教室等いろいろな事業を計画し、皆さんの参加を待っています。  
気軽にご参加下さい。

◇全国大会出場選手の手記については原文のまま掲載しましたが、紙面の都合などにより編集段階で一部修正、カットした部分がありますのでご了承下さい。